



文部科学省

「課題発見・解決に向けた主体的・協働的な学びの推進事業」における「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」(2年次)

「見方・考え方」を働かせた
「対話」で深い学びを！



(3年次)

【研究主題】

仲間と共につくる

豊かな学びⅡ

—新たな価値を創造する「対話」を目指して—

【開催期日】

2017. 6/9 金

日程

8:10	8:40	8:50	9:00	9:30	9:45	10:30	10:45	11:30	12:40	14:30	14:50	16:10	16:20	16:50
受付	移動	歓迎演奏(合唱部)	全体会 (研究説明・諸連絡)	移動	提案授業Ⅰ	移動	提案授業Ⅱ	昼食・休憩	各教科等 別協議会	移動	講演	移動	講評・講話	

「見方・考え方」を働かせた「対話」で教科等の本質に迫る授業を目指します。

各教科等提案授業 提案授業Ⅰ (9:45～10:30)

3年国語 (3A教室)

**せつめいのくふうを見つけよう
～すがたをかえる大豆～**

なぜ、「姿を変えた大豆」の例をこの順番で取り上げたのか。事柄の順序に着目し、筆者の意図を考えることを通して、構成の工夫について理解を深める授業を目指します。

鎌田 雅子

5年家庭 (家庭科室)

**感じてみよう
味覚の不思議**

味覚の一つである旨味の成分に着目し、和食でだしがよく使われているのはなぜなのか考えることを通して、みそ汁のだしの必要性に気付く授業を提案します。

石川 優子

1年生活 (1A教室)

**そだてよう さかせよう
アサガオだいさくせん**

アサガオの生長の様子の比較から生まれる気付きや疑問をもとに、子どもなりに適切な世話の方法を考えます。アサガオへさらに働きかけていく子どもの姿を目指します。

福田 佳子

3年体育 (アリーナ)

**ゆう気をもって タッチダウン
～フラッグフットボールを
もとにしたやさしいゲーム～**

相手陣地へボールを運ぶゲームを行います。ボール操作やボールをもたない動きに着目し、ゴールラインを突破するために効果的な動きは何かを見出す子どもの姿を目指します。

三浦 大介

6年理科 (理科1室)

**てこのはたらきを
調べよう**

てこを利用した道具は、なぜそのようなつくりになっているのか。支点、力点、作用点の位置関係がもたらす働きを実感する授業を目指します。

高橋 猛

1年音楽 (音楽室)

わくわくリズム

「タン」「タタ」「ウン」の組合せでできる、いろいろなリズム。拍の流れや友達と合わせる楽しさを大切にして、音がつながり、音楽へと変わっていく学習活動を目指します。

小林 葉子

4年図画工作 (図工室)

**今まで見たことがない
〇〇な山の物語**

紙の上にひもを自由に置き、友達と一緒に見立て遊びをする中で、気に入った形を見付けます。その形から生まれる物語を絵に表すために、イメージをふくらませていきます。

三浦 里子

6年外国語活動 (6B教室)

**How do you like～?
違いにこだわる日本茶屋**

感覚でしかないお茶の味を伝え合うには…。英語を用いて試しながら伝え方を探る試行錯誤の活動を軸にすることで、ライブ感覚を楽しみたいと思える子どもの姿を目指します。

小室 真紀

2年算数 (2C教室)

どんな式になるのかな

みんなで何人かな。半具体物を動かしたり、図を用いて考えを説明したりする学習から、子どもたちが順序数の加法場面を正しくとらえ、立式につなげていく授業を目指します。

保坂 智子

4年算数 (4B教室)

四角形について考えよう

なぜその手順で平行四辺形がかけられるのか。根拠を明らかにすることによって、作図の方法と平行四辺形の定義や性質が密接に結び付いていることを実感できる授業を目指します。

小野寺 拓矢

歓迎演奏【合唱部】

木

まど・みちお 作詞
鹿谷 美緒子 作曲

提案授業 II

(10:45~11:30)



3年理科 (理科II室)

電気の通り道を調べよう

16mのアルミホイルを入れた長い回路でも豆電球は点くのか? 「金属は電気を通す」という科学概念が適用できるかを検証し、さらに身の周りの様々な回路へと広げていきます。

清水 琢



5年外国語活動 (5B教室)

I like pineapple. 友達のことをよく知るために「Who am I? クイズ」をつくろう!

単元のゴールは友達になり切ったクイズ大会。コミュニケーションのための「見方・考え方」を意識しながら、互いをもっと知ろうとする目的意識のある授業づくりを提案します。

石田智之



1年国語 (1C教室)

答えを見つけながら読もう
～うみのかくれんぼ～

かくれ方は、生き物によって三者三様。「答え」の段落の似ているところや、違うところに着目することで、かくれ方の違いに気付く子どもの姿を目指します。

小松田ひかり



3年算数 (3B教室)

わり算について考えよう

60÷3は、どう計算するのかな。考えの比較を通して10のまとまりに着目することで、商が2位数になる計算の意味理解を確実にする授業を目指します。

松橋純子



6年音楽 (音楽室)

ひびき合いを生かして

一つの旋律が繰り返されながら変化していくカノン。音楽の縦と横の関係や反復・変化に着目して、思いをもち演奏をつくり上げる楽しさを味わえる学習活動を目指します。

大山光子



2年図画工作 (2A教室)

ポーズでつたえよう〇〇
している生きもの(粘土)

粘土の作品を鑑賞して「～している様子」が分かる「ポーズ」を見付けます。それを基にして、自分でイメージした生き物の特徴がもつと表れるようにつくり変えていきます。

進藤 亨



4年社会 (4C教室)

調べよう、考えよう、
わたしたちのくらしと安全

安心してくらししているのは当たり前? 安全なくらしを守る仕事と自分たちでできることを結びつけながら、「対話」を通して地域の一員としての自分を考える子どもを目指します。

石井史知



6年体育 (アリーナ)

個の力を生かしたチーム力で
めざせゴール!!
～ハンドボール～

シュートやパス、ボールを持たない時の動きに目を向け、他チームと比較しながらチームの特徴に応じた作戦を考え、チーム力でゴールする楽しさを味わう授業を目指します。

佐々木雅巳



2年生活 (2B教室)

きらっと やさい名人!

育てる野菜の種や苗の特徴を見付けます。それぞれの野菜の種や苗の世話の仕方に注目し、比べて見つけた共通点や違いを伝え合い、生長の特徴に気付く授業を目指します。

嶋崎裕子



5年理科 (理科I室)

物の溶け方を調べよう

入浴剤や飲料など身の回りにある物の溶け方を、量や温度、重さなどの規則性に着目しながら比較し、「どうしたら水に溶けたと言えるのか」を仲間と共に探していきます。

渡部誠一郎

協議会

(12:40~14:30)

教科等	研究テーマ	研究協力者	助言者
国語	言葉のみつめ、言葉との新たなつながりを見いだす学び	秋田大学 阿部 昇 成田 雅樹	中央教育事務所由利出張所 加賀 秀和
社会	社会科の「見方・考え方」を働かせ、よりよい社会について主体的に思考する学び	秋田大学 外池 智 加納 隆徳	中央教育事務所 津島 穰
算数	かかわり合いを通して理解を深め、数学的な価値を見いだす学び	秋田大学 杜 威 佐藤 学 山名 裕子	中央教育事務所 小澤 進
理科	理科の「見方・考え方」を深め、獲得した科学的な概念と実生活をつなげていく理科学習	秋田大学 川村 教一 田口 瑞穂	中央教育事務所 小玉 克男
生活	自分自身への気付きを質的に高め、豊かな生活を生み出す生活学習	秋田大学 中野 良樹	中央教育事務所由利出張所 倉田 和人
音楽	自ら奏でる音を聴き、周囲と響き合い、共に創造性を育む音楽活動	秋田大学 吉澤 恭子	中央教育事務所 三戸 智佳
図画工作	試行錯誤をしながら、表現したいことを広げ深める、豊かな造形活動	秋田大学 長瀬 達也	中央教育事務所由利出張所 菊地 邦彦
家庭	家族や仲間とかかわり合いながら、よりよい家庭生活を創り出す学び	秋田大学 佐々木信子 堀江さおり	中央教育事務所 渡邊 一幸
体育	できる喜びを味わい、運動する楽しさを広げる体育学習	秋田大学 佐藤 靖	中央教育事務所 沼倉 友和
外国語活動	仲間や言語に積極的にかかわり、コミュニケーションへの自信を高める外国語活動	秋田大学 佐々木雅子 若 有 保彦	中央教育事務所 伊藤 景子

講演

演題「主体的・対話的で深い学びを拓く教師のすがた」



講師 小林 宏己 氏

14:50 ~ 16:10

早稲田大学 教育・総合科学学術院教授
東京学芸大学教育学部卒業、
同大学院教育学研究科修士課程修了。
東京都立小学校、東京学芸大学附属小学校教諭、
東京学芸大学助教授、教授を経て、現在に至る

主著 『授業研究 27 の原理・原則—授業力向上のための実践的思考』（学事出版）
『小1 プロブレムを克服する！幼小連携活動プラン』（明治図書）

講評・講話

演題「今求められる授業のあり方—「教科する」授業というビジョン」



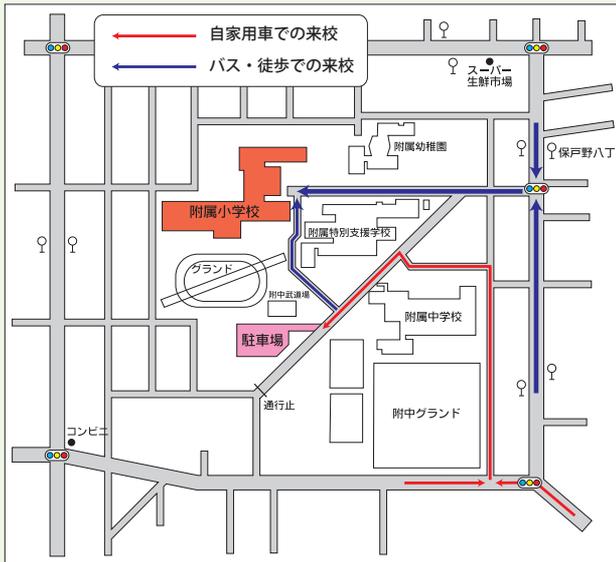
講師 石井 英真 氏

16:20 ~ 16:50

京都大学大学院教育学研究科准教授
京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。
博士（教育学）。専攻は教育方法学（学力論）。

主著 『教師の資質・能力を高める！アクティブ・ラーニングを超えていく「研究する」教師へ：教師が学び合う「実践研究」の方法』
『小学校発 アクティブ・ラーニングを超える授業：質の高い学びのビジョン「教科する」授業』
『中教審「答申」を読み解く』（日本標準）

会場までの交通機関のご案内



- 〈秋田駅から〉
●バス利用 15 分程度
・神田旭野線⑧(天徳寺、卸売市場旭野地行き)
・添川線⑧
バス停/保戸野八丁下車
●タクシー利用 10 分程度
〈秋田空港から〉
●バス・タクシー利用 60 分程度



申し込みについて

- 申し込み 平成29年6月5日(月)まで、「公開研参加申込書」にてFAXでお申し込みください。
※WEBでも参加申込みができます。詳細は本校ホームページをご覧ください。
■会費 2,000円(要項・資料代として当日、受付でお支払いください)
■その他
・当日の受付もいたします。
・上履きは各自ご持参ください。
・昼食700円(弁当、飲み物)を希望される方は、「公開研参加申込書」にてお申し込みの上、当日、受付で代金と引き換えに食券をお受け取りください。
・駐車場を準備いたします。ご希望の方は「公開研参加申込書」にご記入ください。乗り合わせてご来校いただければ幸いです。
・写真撮影、ビデオ撮影等はできません。

文部科学省「課題発見・解決に向けた主体的・協働的な学びの推進事業」における「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」(2年次)

平成29年度 秋の授業研究会 (提案授業・授業検討会を行います。参加費は無料です。)

Table with 4 columns: Date, Subject (Year), Instructor, and Research Collaborator (Akita University). Rows include 10/31 (Tue) for Japanese (3rd year), Social Studies (4th year), Arithmetic (3rd year), and Science (6th year).

※研究会の期日は変更になる場合もありますので、本校ホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 秋田大学教育文化学部附属小学校

住所/秋田市保戸野原の町13番1号 研究委員長 菅野 宣衛 電話/018-862-2593 FAX/018-862-2598
e-mail: sugano@aes.akita-u.ac.jp / URL http://www.aes.akita-u.ac.jp